

## ノブドウ (野葡萄)

名前の意味<sup>いみ</sup>：野に生えるブドウの意味

分類：双子葉類、ブドウ科、ノブドウ属

(ブドウ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：ブドウ)

好きな場所：日当たりのよい林ややぶの縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴：巻きづるのあるつる植物、青や紫のカラフルな実

種子の運ばれかた：鳥に食べられる

花弁の数：5枚、離弁<sup>りべん</sup>。花が咲く時に花弁は落ちる

花の時期：7—9月

食べ方：ブドウに似<sup>に</sup>ているが、食べられない

見分け方：エビヅルは、葉の裏<sup>うら</sup>に白い毛が多い。実の房<sup>ふさ</sup>は小さなブドウのよう。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)